

秋
爽

谷垣満壽子

見上げたる空も行手も爽やかに
ツクサの瑠璃に囲まれ道祖神

秋澄むや音先立てて堰の水

白木しろむくげ権かごめかごめを見下ろして

思ふことならざるひと日翳雲

秋の水影曳くほどに魚育つ

無花果のこれは甘しと一つも挽ぐ

旅の宿寝覚めの窓に後の月

いけられてりんだう竜胆の尚凜と立ち

楽しみつつ老いてゆきたし秋茜